

平成31(令和元)年度「市函ディプロマ・ポリシー(市函DP)」

目的の明確化

市函生としての誇り＝市函プライド(校訓「何を求める」、校歌「夢ここにあり」を踏まえて)
「志を高く掲げて、主体性をもって、他者と協働してひたむきに真理を求めて、未知の世界へ羽ばたこうとする心」

本校教育の目的

「市函プライドをもって、世界に目を向け、これからの時代を生き抜くことのできる生徒を育成する」

教育目標の具体化

<本校教育活動全般で育成する10の資質・能力>

- | | | |
|---------------------|---|--------------------------|
| 1 知性を磨き、可能性を拓こう | → | 基礎力、思考力、主体的学習力 |
| 2 情感と品性を養い、人間性を深めよう | → | 傾聴力、自己理解・自己管理能力、他者理解力 |
| 3 心と体を鍛え、逞しく生きよう | → | 計画実行力、発信・表現力、ストレスコントロール力 |
| 4 郷土を学び、世界を見つめよう | → | 実践力 |

市函ディプロマ・ポリシー(市函DP)

- | | |
|---------------|-------------------------------------|
| ① 基礎力 | 生涯にわたって学び続けるための基礎的・基本的な力を身につける。 |
| ② 思考力 | 「なぜか？」を考え、より良い答えや解を導き出す力を身に付ける。 |
| ③ 主体的学習力 | 自分で課題を見つけ、課題の解決のために、自ら学ぶ力を身に付ける。 |
| ④ 傾聴力 | 相手の話に耳を傾けて、熱心に聴く習慣を身に付ける。 |
| ⑤ 自己理解・自己管理能力 | 自分の適性を理解し、適切に自らを律する力を身に付ける。 |
| ⑥ 他者理解力 | 他者との価値観の違いを認め、寛容さを持って協働していく力を身に付ける。 |
| ⑦ 計画実行力 | 目的を達成するために、予め計画を立てて、行動する力を身に付ける。 |
| ⑧ 発信・表現力 | 自分の気持ちや考えを相手にわかりやすく伝える表現方法を身に付ける。 |
| ⑨ ストレスコントロール力 | ストレスの発生源に対応する力を身に付ける。 |
| ⑩ 実践力 | 世界的視野で地域を考え、行動できる力を身に付ける。 |

具体的な方策

教育の質を高める環境の構築

- 生徒と向き合う時間の確保
 - ・会議や打合せの質的改善、資料のペーパーレス化等
 - ・円滑な業務運営のための校務システムの改善等
- 活力ある教育活動を行うための教職員の業務改善
 - ・勤務時間の適正な管理
 - ・持続可能な部活動の指導(適切な練習時間・休養日の設定)
 - ・学校閉庁日の設定(年間9日間 8/13～15、12/28～1/3)
 - ・変形労働時間制への対応(新たな対象業務への適切な対応)

学びの質の向上

- 「深い学び」への授業改善
 - ・「教える」から「学ぶ」へ
 - ・「知識の伝達と習得中心」から「知識の活用による思考と探究中心」へ
 - ・「知識の体系」から「資質・能力の体系」へ
 - ・「資質・能力」の明確化(「市函DP」の設定)と教育課程全体の評価
 - ・実践的な英語活用能力の向上(英語4技能への十分な対応等)
 - ・「主体的に学ぶ力」の育成
- ICT教育への対応
 - ・優れた授業実践の共有化、スマホやタブレット等を活用した学習履歴のデータ化、効果的な家庭学習の充実

協働的な問題解決能力の育成

- 「総合的な探究の時間」の内容充実
 - ・進路選択学習、未来大学訪問、小論文指導、出前講義、プレゼン、課題研究等による問題解決能力の育成、探究学習の充実
- 「函館学」の深化・発展
 - ・地域との連携による探究型学習を通して主体的に学ぶ力を育む
- キャリア教育の充実
 - ・「将来への意識(キャリア意識)」を高めるための組織的・計画的な指導(「総合的な探究の時間」・「函館学」・「特別活動」等、主体的な課外活動の奨励)
- 特別活動・部活動の実践
 - ・「豊かな対人関係と活動性」を育む